

「増税中止」と「ゼロ税率」求める

消費税署名にご協力を!



消費税の増税中止と医療をはじめとする生活必需品にゼロ税率の適用を求めるための患者署名です。リーフレットとあわせて医院でご活用下さい。皆さまのご協力をお願いします。

追加のご注文は、Tel 078-393-1817 まで

新しくなった

協会ウェブサイトをご利用ください

協会ウェブサイトが新しくなりました。

姫路・西播支部のニュースや企画情報なども掲載し、随時更新しています。ぜひご利用ください。



URL: <http://www.hhk.jp/>

兵庫県保険医協会

検索する

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.170 2011年2月5日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

新規開業医懇談会「個別指導対策とカルテ記載の留意点」

日ごろからカルテ記載の充実を



真剣にメモをとる参加者

姫路・西播支部は1月20日、新規開業医懇談会「個別指導対策とカルテ記載の留意点～新規個別指導と最近の審査減点事例を中心に(医科対象)」を開催し、新規開業医を含む45人が参加した。協会審査対策部の西山裕康副部長が講師をつとめた。

西山先生は、新規個別指導を中心に地方厚生局移管後の個別指導の特徴点や個別指導時の指摘事項、返還項目、カルテ記載上の留意点などについて、協会に寄せられた具体的な相談事例も交えながら解説した。

(2面につづく)

(1面つづき)

西山先生は、2008年10月に指導・監査等の業務が地方社会保険事務局から近畿厚生局に移管され、全国的に強化・標準化される方向ですすめられている現状を紹介。特定疾患療養管理料や在宅時医学総合管理料などの指導内容がカルテに記載されておらず、算定要件が満たされていないものについては、新規個別指導でも返還を求められていると述べた。



西山先生がスライドを示しながら説明している様子

そして、自身の新規個別指導の経験や協会への相談事例を具体的に紹介しながら、個別指導への対策としては日ごろからカルテ記載を充実させておくことが重要であると説明し、「個別指導の通知が来たら、まず協会へ相談を」と呼びかけた。会場からは、カルテ記載の要領など活発に質問が出され、西山先生が丁寧に回答した。

参加者からは「新規開業で請求に不安を感じていたが、これからは協会へ相談したい」「電子カルテでは、入力欄にいくつか項目が出てくるが、どれを選べばいいのかは教えてくれない。カルテ記載上の注意点をしっかり認識する必要を感じた」などと好評の声が聞かれた。なお、当日1人が協会に入会された。

保険診療の請求事務・再審査請求・指導・監査など

ご相談やお問い合わせは、

(医科) 078-393-1803 (歯科) 078-393-1809 まで



第230回幹事会から

1月20日(木) 於 姫路キャッスルホテル 参加 6人

- ◆姫路・西播支部の会員数 645人(医科 441人、歯科 204人)
- ◆情勢と運動対策、その他 相生市の中学校卒業まで給食無料化、外資系企業の法人税減税案などについて議論が行われた。
- ◆支部の活動・企画 春までの企画について意見交換を行った

次回、幹事会は2月19日(土)14時30分から姫路じばさんびるで開催。会員の先生はどなたでもご参加いただけます。

お問い合わせは、TEL 078-393-1807 小西まで。

第27回地域医療を考える懇談会・感想文

情報交換・連携の重要性を痛感

地域医療部と姫路・西播支部が12月4日開催した第27回地域医療を考える懇談会「在宅における多職種連携を考える」(前号既報)の参加者の感想文を紹介する。



会場からも活発な意見が出された

私自身は、在宅医療は試行錯誤で行っていますが、本当にこれで良いのかどうか自信がありません。今回参考になればと思い、聴講させていただきました。

往診・訪問については、高齢者の多い田舎では、必要不可欠の状況です。24時間体制は取れていませんが、緊急時携帯に連絡がつくよう

にしておき、場合によって救急車要請を指示することもあります。

赤穂では、中核病院が2カ所あり、どちらもDPCですが、緊急時に断られることはめったになく、その点恵まれているなあと実感しました。

休暇はやはり取りにくく、盆と正月くらいで、家族もあきらめています。毎日点滴や処置が必要なときは、訪問看護を利用させてもらうこともありますが、気を遣うことも多く、土日が休みの所もあり、十分活用できていません。

回復期や療養病棟のいろんなしぼりを考えますと、厚生労働省のあの手この手の医療費削減しか考えないやり方に強い憤りを感じます。

残念ながら、歯科との連携はまったくとれておらず、大いに反省させられました。総勢54人のスタッフが入っているというALSの症例には驚きました。ご家族と訪問看護師との連携が、よほどうまくいったのでしょうか。また、ケアマネジャーとの情報交換の重要性も痛感しました。

最後にいろいろ盛りだくさんの内容でしたが、時間の都合もあり、それぞれの掘り下げが不十分だったような気がします。次の機会には、個々の職種で十分時間をかけて話していただきたいと思いました。

【赤穂市 澤田 周】

投稿募集!



姫路・西播支部ニュースへの投稿を募集しています。趣味や日常お考えのことなどテーマは問いません。ぜひお寄せ下さい。

FAX: 078-393-1802 E-mail: konishi-s@doc-net.or.jp 担当事務局 小西まで